

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

別添資料

令和 6年 1月 日

協議会名: 旭川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
旭川中央交通株式会社	米飯地区と東旭川駅周辺間を結ぶ米飯線において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。	地域住民を対象にアンケートを実施し利用実態、住民ニーズの把握等を行った。今後はアンケート結果をもとに意見交換会を実施する。	A	計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。	B 計画に位置付けられた米飯地区人口1人あたりの年間利用回数の目標は7.1回で、前年度からの回復は見られたものの、実績は6.4回にとどまった。	アンケート、意見交換会等の取組を通じて、利用状況や意見をもとに、ニーズに合った運行となるよう検討を進める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年 1月 日

協議会名:	旭川市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km ² 、人口は2023年4月1日時点で322,527人である。人口は2000年より減少に転じ、それにもなって市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

旭川市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km²、人口は2023年4月1日時点で322,527人である。人口は2000年より減少に転じ、それともなって市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。

そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

人口1人あたりの年間利用回数7.1回

令和5年度米飯線事業概要

米飯地区と東旭川駅周辺間を結ぶ米飯線において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。

地域公共交通の現況

- ・ 旭川中央交通 (株) デマンド米飯線
- ・ 旭川電気軌道 (株) 72系統
- ・ 道北バス (株) 61系統
- ・ JR北海道 (株) 4路線

協議会開催状況

令和4年6月30日

- 令和4年度 第1回旭川市地域公共交通会議
- －旭川市生活交通確保維持改善計画の承認

令和5年1月16日

- 令和4年度 第2回旭川市地域公共交通会議
- －地域公共交通計画の見直し等について
- －デマンド交通米飯線の実績報告
- －北海道運輸局補助事業の事業評価

令和5年4月28日

- 令和5年度 第1回旭川市地域公共交通会議
- －旭川市生活交通確保維持改善計画について

令和6年1月11日

- 令和5年度 第2回旭川市地域公共交通会議
- －デマンド交通米飯線の実績報告
- －北海道運輸局補助事業の事業評価

令和5年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

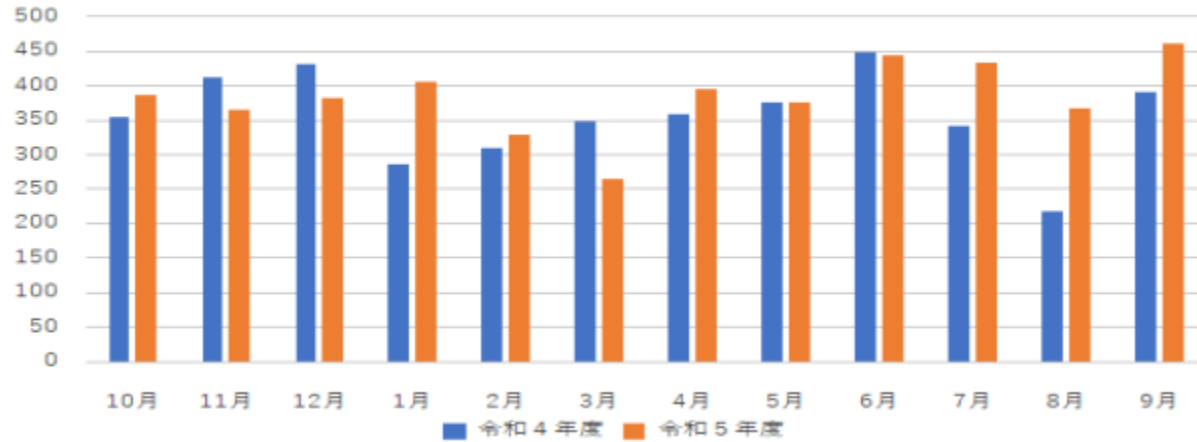
- ・予約締切後、お迎え到着時間のコールバック
- ・運行車両位置情報お知らせアプリ
- ・冬の山道でも運行に支障がないよう主として4WD車使用(ジャンボタクシー・マイクロバス)

2) 運行系統

東旭川駅周辺施設～東旭川町瑞穂・米原・豊田・東桜岡～旭川21世紀の森

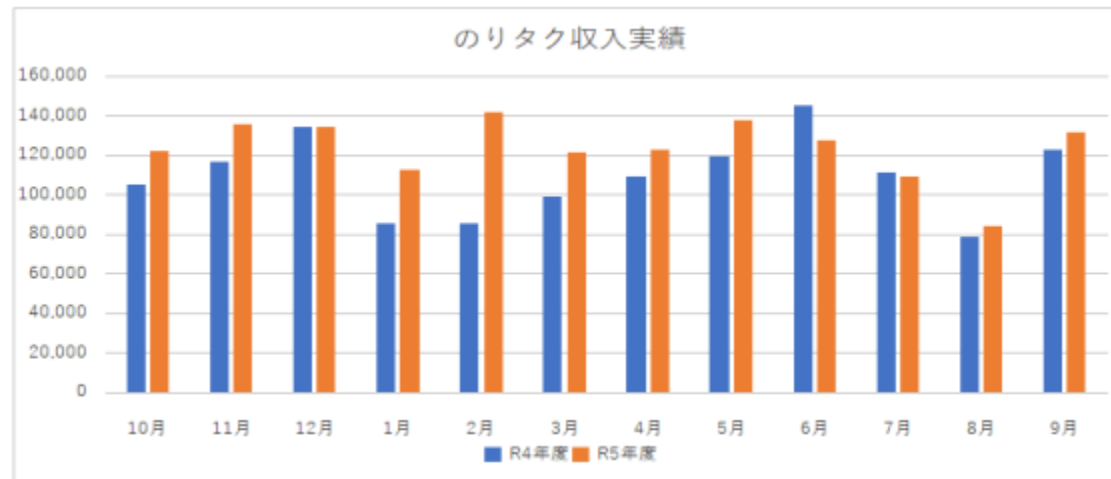


3) 利用実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
令和4年度	354	410	431	285	309	348	358	374	448	340	216	390	4,263人
令和5年度	386	365	382	405	328	264	394	375	444	432	367	459	4,601人

4) 収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R4年度	104,682	116,500	134,180	85,545	85,136	98,818	108,773	119,273	144,864	111,045	78,636	122,455	1,309,907円
R5年度	121,909	135,500	133,773	112,091	141,318	121,273	122,864	137,727	127,500	109,000	83,682	131,545	1,478,182円

5) 事業実施の適切性

計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。

7) 事業の今後の改善点

意見交換会等の取組を通じて、実際に当該路線を利用している者の移動目的、用事の時間等を把握し、実態に沿った時刻等の設定を検討し、利便性及び生産性の向上を図る。

6) 目標・効果達成状況

計画に位置づけられた目標は、人口1人あたりの年間利用回数7.1回であったが、実績は6.4回にとどまった。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄